

狐笛のかなた



[狐笛のかなた_下载链接1](#)

著者:上橋菜穂子

出版者:新潮社

出版时间:2006-12

装帧:文庫

isbn:9784101302713

小夜は12歳。人の心が聞こえる“聞き耳”の力を亡き母から受け継いだ。ある日の

夕暮れ、犬に追われる子狐を助けたが、狐はこの世と神の世の“あわい”に棲む霊狐・野火だった。隣り合う二つの国の争いに巻き込まれ、呪いを避けて森陰屋敷に閉じ込められている少年・小春丸をめぐり、小夜と野火の、孤独でけなげな愛が燃え上がる…愛のために身を捨てたとき、もう恐ろしいものは何もない。野間児童文芸賞受賞作。

作者介绍:

上橋菜穂子（ウエハシナホコ）

1962（昭和37）年東京生れ。川村学園女子大学助教授。オーストラリアの先住民アボリジニを研究中。著書は、『狐笛のかなた』（野間児童文芸賞）の他に、『月の森に、カミよ眠れ』（日本児童文学者協会新人賞）、『精霊の守り人』（野間児童文芸新人賞、産経児童出版文化賞）、『闇の守り人』（日本児童文学者協会賞）、『夢の守り人』（路傍の石文学賞）、『神の守り人 来訪編・帰還編』（小学館児童出版文化賞）、『虚空の旅人』などがある。2002（平成14）年巖谷小波文芸賞受賞（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目录:

[狐笛のかなた 下载链接1](#)

标签

上橋菜穂子

爱情

日本文学

日本

小说

児童文學

儿童

评论

熟悉的风景一直萦绕在心头，挥之不去。结尾意外地十分温暖（被先生虐慣了好不習慣==。）一本就完结，看不过癮啊。以上橋先生的深厚功力，至少也应该写四本，以飨万千读者!!!

これは恋の物語だ。

[狐笛のかなた 下载链接1](#)

书评

[狐笛のかなた 下载链接1](#)